

附属特別支援学校 校長だより

NO2

令和2年5月15日

発行：附属特別支援学校

校長 須田 正信

新型コロナウイルス感染防止対策 学校の臨時休校の延長と学校再開に向けて

附属特別支援学校児童・生徒等、保護者の皆さんへ

新型コロナウイルス感染防止対策と学校の臨時休校の延長と学校再開に向けて

児童生徒の皆さん、保護者の皆様、この間の新型コロナウイルス感染防止のために長く臨時休校と共に外出自粛を余儀なくされていることについて、学校長としても一日も早く元の生活にも出れるように願わずにはおられません。この間、情勢変化に対応して電話及び郵送にて情報提供を行ってきました。週単位で児童生徒の皆さんの健康観察や在宅での生活についての様子を伺ってきましたが現在のところ皆さん罹患なく無事でおられること安堵しています。

さて、大阪教育大学附属学校機構においては、引き続き「臨時休業措置」が5月31まで延長が示されされています。しかしながらこの間、国や大阪府の情報からは、学校の開校に向けた「分散登校」が取り出されているところです。附属特別支援学校においてもこの取り組みについて検討を行っているところです。既に学校開校を行うにあたっての「マニュアル」をすでに提示しているところですが、再び感染拡大を防止する策をどのように講ずるかが大きな課題でもあります。いわゆる「3密」を遵守した教育活動をどのように再開できるかです。

特別支援教育においては、子どもとの接触を旨とする教育である限りそれは避けられません。大阪の一部学校ではすでに週一回程度の「分散登校」が実施されていますが、その実施に向けた対応や実施形態を注視しているところです。文部科学省初等中等局長通知(5月1日付け)では、特別支援学校における「分散登校実施に向けて」についての慎重な言及もあり再開に向けた具体的な指示は今のところありません。大阪府立支援学校においては、「登校日設定」についても障がい種別に対応した取り組みとして知的障害支援学校では、登校日を設けず「個人面談」とすることも計画されています。

附属特別支援学校としては、早い段階において教育活動再開に向けて、皆さんへの通知を急ぎたいと思います。今後、子どもたちが登校するにあたっては、それぞれの家庭や学校において、マスクの着用、手指の消毒などの感染症予防対策を徹底するとともに、通学途中や学校内のあらゆる場所、あらゆる場面で、いわゆる「3密(密閉、密集、密接)」を避ける措置を講じ、子どもたちの安全に万全を期さなければなりません。万一、学校で感染者が発生した場合には、速やかに安全確保措置を講じるなど、しっかりと対応する所存です。

現在、社会全体が長期間にわたりこの新たなウイルスとの「共存・共生」を余儀なくされることが言われています。第2、第3の感染拡大の波が訪れるかもしれません。学校休校が長引きことや、再開しても再び休校せざるを得ないということも覚悟しなければなりません。このような情勢認識をご理解いただき、どうか一日も早く学校に子どもたちの笑顔が戻る日が来るよう、皆で一丸となって頑張りましょう。

令和2年5月15日

大阪教育大学附属特別支援学校長 須田 正信